

文部科学省CBTシステム（MEXCBT：メクビット）活用事例 【埼玉県】加須市立騎西中学校

埼玉県の加須市立騎西中学校 内田 智之 先生から、MEXCBTの利活用についてお話を伺いました。
 騎西中学校は、令和4年度と令和5年度のMEXCBTの学校別解答数の累計が、たいへん多くなっています（令和5年6月時点）。朝の学習や家庭学習等での課題において活用された際の子どもたちや先生方それぞれの視点からの利点について、主にお話を伺いました。
 ■■■学校HPのURL https://www.city.kazo.lg.jp/soshiki/kyouiku/kyouiku/kisainishi_j/index.html ■■■

<p>活用の概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○朝のチャレンジタイム（10分間の学習の時間）で活用 ○毎日の家庭学習、長期休業中の課題として活用 ・全国学力・学習状況調査の過去問題や加須市チャレンジシートなどで各教科の課題となっている分野を重点的に取り組んだ。 （例）3年生：全国学力・学習状況調査（過去問題） 全学年：加須市チャレンジシート ・学習単元終了後、復習として課題に取り組んだ。 ・定期テスト対策として類題に取り組んだ。
<p>子どもたちの反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・解答後すぐに答え合わせができるため、分かりやすかった。 ・課題に向き合っ黙々と取り組んでおり、筆記用具を用いて行うよりも集中して行っていた。 ・回数を重ねるごとにタブレット操作もスムーズになっていった。
<p>先生の反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進度に合わせた配信（個別対応）ができるため便利。 ・理解度が目に見えて捉えられるため、学習の到達度等も把握しやすい。 ・配信課題が多くあり、課題作成の時間が減り、働き方改革へとつながっている。
<p>今後の活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、朝の時間や単元の振り返り（復習）として使用していきたい。 ・授業での活用、問題作成のスキルを身に付け、活用の場面を増やしていきたい。



※ 文部科学省では、いただいたご意見やご要望を参考に、順次、MEXCBTの改善を進めています。